

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第1部門第2区分

【発行日】令和2年10月15日(2020.10.15)

【公開番号】特開2019-37496(P2019-37496A)

【公開日】平成31年3月14日(2019.3.14)

【年通号数】公開・登録公報2019-010

【出願番号】特願2017-161836(P2017-161836)

【国際特許分類】

A 6 3 F 7/02 (2006.01)

【F I】

A 6 3 F 7/02 3 2 0

【手続補正書】

【提出日】令和2年9月4日(2020.9.4)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

識別情報の変動表示を行なうことが可能な遊技機であって、

識別情報の変動表示を制御する変動表示制御手段を備え、

識別情報は、少なくとも識別情報部と装飾部とを含み、遊技状態に応じて構成が異なり

前記変動表示制御手段は、

識別情報を停止表示するときに、前記識別情報部を第1動作態様で動作させるとともに、前記装飾部を第2動作態様で動作させ、

前記第1動作態様は、第1期間中に前記識別情報部の動作が行なわれ、

前記第2動作態様は、前記第1期間よりも短い第2期間中に前記装飾部の動作が行なわれ、

識別情報として、特殊識別情報と特殊識別情報と異なる所定識別情報を表示可能であり、

特殊識別情報は、所定識別情報と比べて動作量が多い、遊技機。

【手続補正2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 0 6

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 0 0 6】

(A) 識別情報の変動表示を行なうことが可能な遊技機であって、

識別情報の変動表示を制御する変動表示制御手段を備え、

識別情報は、少なくとも識別情報部と装飾部とを含み、遊技状態に応じて構成が異なり

前記変動表示制御手段は、

識別情報を停止表示するときに、前記識別情報部を第1動作態様で動作させるとともに、前記装飾部を第2動作態様で動作させ、

前記第1動作態様は、第1期間中に前記識別情報部の動作が行なわれ、

前記第2動作態様は、前記第1期間よりも短い第2期間中に前記装飾部の動作が行な

われ、

識別情報として、特殊識別情報と特殊識別情報と異なる所定識別情報を表示可能であり、

特殊識別情報は、所定識別情報と比べて動作量が多い、遊技機。

(1) 識別情報（第1特別図柄、第2特別図柄、演出図柄等）の変動表示を行なうことが可能な遊技機（パチンコ遊技機1等）であって、

識別情報（図17の左図柄910、中図柄920、右図柄930）の変動表示を制御する変動表示制御手段（演出制御用マイクロコンピュータ100、図13のS801～S803等）を備え、

識別情報は、少なくとも識別情報部（図17の数字部911、921、931等）と装飾部（図17の装飾部912、922、932等）とを含み、

前記変動表示制御手段は、

識別情報を停止表示するときに、前記識別情報部を第1動作態様（図17（D）の停止時図柄動作の動作態様等）で動作させるとともに、前記装飾部を第2動作態様（図17（D）の停止時装飾動作の動作態様等）で動作させ、

前記第1動作態様では、第1期間中に動作が行なわれ（図17（D）の数字部911、931の破線矢印のように停止時図柄で仮停止後、変動表示終了時までの期間中に揺れ動作を繰り返す停止時図柄動作をする等）、

前記第2動作態様では、前記第1期間よりも短い第2期間中に動作が行なわれる（図17（D）の装飾部912、932の破線矢印のように所定期間中に1回だけ停止時ポーズをとる停止時装飾動作をする等）。